

平成 23 年 度

# 仙 台 市 水 道 事 業 会 計

## 決 算 説 明 資 料

- 1 決 算 の 概 況
- 2 事 業 実 績 表
- 3 予 算 決 算 比 較 表
- 4 建 設 改 良 事 業 の 概 要
- 5 東 日 本 大 震 災 の 影 響 に つ い て

仙 台 市 水 道 局

# 1. 決算の概況

本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画」(平成22年度～平成26年度)に基づき、水道施設の整備や東日本大震災により被災した施設の復旧を図りながら、お客さまへの安全・安心で良質な水の安定供給に努めてまいりました。

事業実績につきましては、年間総配水量が1億2,181万6千立方メートル、前年度比80万1千立方メートル(0.7%)減、年間有収水量が1億806万7千立方メートル、前年度比678万9千立方メートル(5.9%)減となり、有収率は前年度より5.0ポイント低下して88.7%となりました。

経営面につきましては、給水収益が大幅に減少しましたが、耐震化の推進等により施設への被害を小規模に抑制できたことに加え、被災施設の復旧に向けた国庫補助等の活用により、経営に対する震災の影響を最小限に留めることができました。

次に、建設改良事業につきましては、配水管整備事業で、老朽鑄鉄管等更新工事や配水管新設工事等を行い、27億4千9百万円を支出し、配水管延べ19,269メートルを布設しました。また、施設整備事業では、太白配水所非常用流入設備整備工事や上追沢沈砂池ドライ粉末活性炭注入設備新設工事を行ったほか、災害時の被害拡大防止や迅速な災害復旧が可能となるよう配水ブロックの再編成等を行い、22億8千6百万円を支出しました。

財政状況につきましては、収益的収支(消費税及び地方消費税抜き)において、総収益が251億7千万円、総費用が244億6千7百万円で当年度純利益は7億3百万円となり、これを前年度繰越欠損金14億5千3百万円から差し引いた残額の7億5千万円は、未処理欠損金として翌年度に繰り越しました。

以上が決算の概況でございますが、震災の影響による需要の動向等を見極めながら、今後とも経営基盤の強化や災害にも強い水道づくりに取り組み、安全で安心な水を安定的にお届けすることを通じて、お客さまに一層信頼される水道事業を目指してまいります。

## 2. 事業実績表

区 分 \ 年 度	単 位	平成23年度 (E)	平成22年度 (F)	対前年度比較	
				増減(△減) (E-F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人	1,032,522	1,024,725	7,797	100.8
給水人口 (B)	人	1,028,015	1,019,713	8,302	100.8
年間総配水量 (C)	m <sup>3</sup>	121,816,255	122,616,563	△ 800,308	99.3
（仙台市配水量）	m <sup>3</sup>	（ 117,692,494 ）	（ 118,073,756 ）	（ △ 381,262 ）	（ 99.7 ）
（他市町分水量）	m <sup>3</sup>	（ 4,123,761 ）	（ 4,542,807 ）	（ △ 419,046 ）	（ 90.8 ）
配水能力	m <sup>3</sup> /日	429,815	430,815	△ 1,000	99.8
一日平均配水量	m <sup>3</sup>	332,831	335,936	△ 3,105	99.1
一日最大配水量	m <sup>3</sup>	366,640	380,824	△ 14,184	96.3
使用給水栓数	栓	412,683	401,701	10,982	102.7
年間有効水量	m <sup>3</sup>	110,913,451	117,737,348	△6,823,897	94.2
年間有収水量 (D)	m <sup>3</sup>	108,067,120	114,855,582	△6,788,462	94.1
配水管延長	km	3,358	3,343	15	100.4
職員数 (管理者除く)	人	416	420	△ 4	99.0
普及率 (B/A)	%	99.6	99.5	0.1	-
有収率 (D/C)	%	88.7	93.7	△ 5.0	-

### 3. 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成23年度予算額						平成23年度	増減額	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流 用 増 減 額	繰 越 額	合 計 (A)	決算額 (B)	(△減) (B)-(A)	
水道事業収益	27,121,463	△ 720,829	0	0	0	26,400,634	26,368,352	△ 32,282	0
営業収益	25,905,732	△1,468,000	0	0	0	24,437,732	24,523,095	85,363	0
給水収益	24,892,729	△1,468,000	0	0	0	23,424,729	23,563,089	138,360	0
受託工事収益	106,410	0	0	0	0	106,410	49,679	△ 56,731	0
その他営業収益	906,593	0	0	0	0	906,593	910,327	3,734	0
営業外収益	1,213,810	747,171	0	0	0	1,960,981	1,839,457	△ 121,524	0
受取利息	11,000	0	0	0	0	11,000	13,685	2,685	0
不動産賃貸料	30,494	0	0	0	0	30,494	33,195	2,701	0
水道加入金	748,168	0	0	0	0	748,168	832,355	84,187	0
他会計補助金	403,091	433,128	0	0	0	836,219	673,218	△ 163,001	0
雑収益	21,057	72,000	0	0	0	93,057	142,696	49,639	0
国庫補助金	0	242,043	0	0	0	242,043	144,308	△ 97,735	0
特別利益	1,921	0	0	0	0	1,921	5,800	3,879	0
固定資産売却益	1	0	0	0	0	1	1,467	1,466	0
過年度損益修正益	1,920	0	0	0	0	1,920	4,333	2,413	0
水道事業費用	26,503,833	△ 480,576	0	0	210,499	26,233,756	25,442,198	△ 791,558	41,633
営業費用	24,123,549	△ 593,000	0	△37,101	210,499	23,703,947	22,799,686	△ 904,261	41,633
人件費	3,807,118	△ 84,000	0	0	0	3,723,118	3,650,935	△ 72,183	0
物品費	437,848	1,000	0	9,421	0	448,269	401,937	△ 46,332	0
経費	5,146,856	△ 18,000	0	29,060	210,499	5,368,415	5,040,329	△ 328,086	41,633
受水費	7,058,179	△ 402,000	0	△75,582	0	6,580,597	6,408,127	△ 172,470	0
減価償却費	7,183,296	△ 60,000	0	0	0	7,123,296	7,089,201	△ 34,095	0
資産減耗費	490,252	△ 30,000	0	0	0	460,252	209,157	△ 251,095	0
営業外費用	2,299,799	112,424	0	△ 156	0	2,412,067	2,405,175	△ 6,892	0
支払利息	1,928,474	△ 13,000	0	0	0	1,915,474	1,914,002	△ 1,472	0
繰延勘定償却	66,140	0	0	0	0	66,140	66,140	0	0
消費税及び 地方消費税	301,985	85,424	0	△ 3,500	0	383,909	379,174	△ 4,735	0
雑支出	3,200	40,000	0	3,344	0	46,544	45,859	△ 685	0
特別損失	50,485	0	0	37,257	0	87,742	237,337	149,595	0
過年度損益修正損	49,800	0	0	37,257	0	87,057	87,056	△ 1	0
その他特別損失	685	0	0	0	0	685	150,281	149,596	0
予備費	30,000	0	0	0	0	30,000	0	△ 30,000	0
当年度純損益(税込み)	617,630	△ 240,253	-	-	△210,499	166,878	926,154	759,276	△41,633
当年度純損益(税抜き)	296,622	△ 104,398	-	-	△200,477	△ 8,253	703,484	711,737	△39,650
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 1,453,071	0	-	-	-	△ 1,453,071	△ 1,453,071	0	-
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 1,156,449	△ 104,398	-	-	△200,477	△ 1,461,324	△ 749,587	711,737	△39,650

(注1) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(注2) 特別損失については、地方公営企業施行令第18条第5項ただし書の規定による超過支出である。

(資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成23年度予算額				合計 (A)	平成23年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額	流 用 増 減 額	繰 越 額				
水道事業資本的収入	3,933,050	△ 1,015,112	0	573,992	3,491,930	2,455,126	△ 1,036,804	927,204
企業債	3,000,000	△ 1,000,000	0	483,000	2,483,000	1,632,000	△ 851,000	851,000
固定資産売却代金	1	0	0	0	1	33	32	0
出資金	468,839	3,070	0	18,172	490,081	443,877	△ 46,204	8,500
開発負担金	157,394	0	0	0	157,394	179,434	22,040	0
負担金	297,236	△ 129,000	0	72,820	241,056	136,302	△ 104,754	66,626
その他資本的収入	9,580	0	0	0	9,580	21,092	11,512	0
国庫補助金	0	110,818	0	0	110,818	42,388	△ 68,430	1,078
水道事業資本的支出	13,068,081	△ 1,588,184	0	2,577,707	14,057,604	10,859,604	△ 3,198,000	1,958,632
建設改良費	7,359,208	△ 1,561,000	0	2,577,707	8,375,915	5,181,068	△ 3,194,847	1,958,632
配水管整備事業費	3,691,430	△ 159,000	△ 70	1,100,236	4,632,596	2,748,896	△ 1,883,700	1,114,596
施設整備事業費	3,225,588	△ 1,224,000	66	1,383,795	3,385,449	2,285,759	△ 1,099,690	756,735
受託等工事費	442,190	△ 178,000	4	93,676	357,870	146,413	△ 211,457	87,301
企業債償還金	5,472,676	△ 27,184	0	0	5,445,492	5,444,621	△ 871	0
開発費	236,197	0	0	0	236,197	233,915	△ 2,282	0
差 引	△ 9,135,031	573,072	0	△ 2,003,715	△ 10,565,674	△ 8,404,478	2,161,196	△ 1,031,428
補てん財源	10,994,299	△ 235,111	0	1,803,238	12,562,426	12,100,302	△ 462,124	991,778
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	321,008	△ 70,713	0	118,193	368,488	222,636	△ 145,852	90,024
損益勘定留保資金	7,619,879	△ 60,000	0	1,885,522	9,445,401	8,417,392	△ 1,028,009	941,404
当年度純損益	296,622	△ 104,398	0	△ 200,477	△ 8,253	703,484	711,737	△ 39,650
前年度繰越金	2,756,790	0	0	0	2,756,790	2,756,790	0	0
当年度末資金剰余額	1,859,268	337,961	0	△ 200,477	1,996,752	3,695,824	1,699,072	△ 39,650

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

## ○資金不足比率

(単位：千円，%)

資金不足額	事業規模(※)	資金不足 比率
(A)	(B)	(A)/(B)
0	23,316,188	-

※事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

#### 4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

事業名	平成23年度 事業費	主たる事業
配水管整備事業	2,748,896	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽铸铁管等更新工事 (口径 75～300ミリ 9,241.7 m)</li> <li>・ 配水管新設工事 (口径 75～600ミリ 7,956.6 m)</li> <li>・ 配水管等整理 (口径 50～600ミリ 2,071.0 m)</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 19,269.3 m</p>
施設整備事業	2,285,759	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上追沢沈砂池ドライ粉末活性炭注入設備新設・改良工事</li> <li>・ 国見浄水場受配電設備更新工事</li> <li>・ 太白配水所非常用流入設備整備工事</li> <li>・ 国見浄水場自家発設備更新工事</li> </ul>
受託等工事	146,413	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富沢駅周辺土地区画整理地内配水支管新設工事</li> <li>・ 苦竹一丁目地内配水支管移設工事</li> <li>・ 仙台駅東第二土地区画整理地内配水支管新設工事</li> </ul>
計	5,181,068	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

## 5. 東日本大震災の影響について

### (1) 施設の復旧状況

(単位：百万円)

分類	内容	復旧額	22年度	23年度	24年度
浄水施設	福岡浄水場 など	206	0	153	53
配水施設	安養寺配水所, 向陽台配水所 など	372	2	212	158
水道管	約 1,100 件の漏水 など	903	186	328	389
庁舎等	卸町庁舎, 国見庁舎 など	69	0	58	11
検査機器	ガスクロマトグラフ質量分析計 など	32	1	31	0
計		1,582	189	782	611

平成 24 年度は予算額

施設については、平成 24 年度実施の安養寺配水所、向陽台配水所等の復旧工事により全ての復旧を終了する予定です。なお、青葉山隧道配水所の配水機能の復旧は調査中につき、表に計上していません。

水道管については、応急的な復旧を終了しており、平成 24 年度で本復旧工事を終了する予定です（地すべり被害地域や津波浸水地域などを除く）。

### (2) 平成 23 年度決算への影響

収益については、平成 23 年 3 月分の基本料金の減免措置を行い、それに伴う平成 23 年度の減収額は、約 2 億 7 千 9 百万円(税抜)と推計されます。従量料金に関しては、有収水量が大幅に減少しており、平成 23 年度当初予算比で約 9 億 4 千 2 百万円(税抜)の減収となりました。

また、災害復旧事業に対する国庫補助金として約 1 億 8 千 7 百万円、一般会計繰入金として約 1 億 7 千 9 百万円を受け入れています。

費用については、上記(1)のとおり、平成 23 年度決算に計上された被災施設の復旧費は、約 7 億 8 千 2 百万円となります。

そのほかの費用への影響として、他都市からの応援による応急復旧費用への支出として約 1 千 8 百万円、放射性物質測定装置の購入費として約 1 千 7 百万円などの計上が挙げられます。

一方、震災により宮城県仙南・仙塩広域水道の送水が停止したことから、受水料金のうち基本料金 1 か月分が減免され、受水費約 4 億 3 百万円の支出が抑制されました。

### (3) 平成 24 年度以降の見通し

平成 23 年度の年間有収水量は、震災に伴う大口需要家の被災等により前年度比 5.9%減の 1 億 8 百万 $m^3$ となりましたが、平成 24 年度当初の動向を見ると有収水量は回復傾向にあります。

一方、東部復興まちづくり等に関連する管路整備にはまだ不確定要素が多く、また、震災を教訓とした施設等の耐震性強化や老朽化対策など建設改良事業費の増加が見込まれます。